

第13号

会報 めいおんの会

発行 平成27年7月13日

「めいおんの会」(名古屋音楽大学出身教員の会)

事務局 名古屋市緑区大清水四丁目522

TEL・FAX (052) 877-1243

発行責任者 会長 百合草 薫

## 母校とのつながり

会長 百合草 薫 (45年卒)

今年も13名の同窓生が、新しく教員の仲間入りをしました。教諭として、愛知県に1名、三重県に2名と聞いています。ぜひ、子どもに好かれ、職員に愛され、そして保護者・地域に喜ばれる先生になっていただきたいと思います。

さて、私は卒業大学の先生方や同窓生との縦・横のつながりは、「生涯かかわりをもつもの」と思っています。個人的には、声楽(専攻)の師であるN先生には、合唱部の顧問をしていたころ中学校に来ていただき、直接指導していただいたことがあります。「目からウロコ」であったことを覚えています。当時は、今のように合唱講習会もなく、コンクールの審査員もされていたN先生が頼りでした。また、指揮法やオケでご指導いただいたY先生は、厳しい中にも人情味のある方で、教員になってからも常に気にかけてくださり、「教育系出身者が多い中、辛いこともあろうが、『音楽の指導には負けない』という気持ちで頑張れ!」と、励ましてくださいました。しかし、10年ほど前、T先生が指揮をされた名音オケの定演でお会いしたとき、「早く校長になれよ!」と言ってくださったのが最後になりました。みなさんも母校の先生方とつながりがあるかと思います。ぜひ生涯にわたって大切にしていきたいと思います。

ところで、現役の時から個人的なつながりだけでなく、大学と同窓・同職の組織としてのつながりの必要性を感じていました。そんな思いで立ち上げたのが「めいおんの会」です。お互いに交流を深めることはもとより、母校の先生方、施設・設備をフルに活用して、「めいおんの会」だからこその他にはない、しかも授業に役立つ研修会を考えてきました。これまで、「オペラ」「ガムラン」「長唄と三味線」「箏と尺八」などの研修をしてきました。そして今年は「鍵盤ハーモニカ」の松田 昌先生をお迎えます。全国的に著名な先生をお迎えできるのも、名音の先生だからこそです。

今、私の勤務するトワイライトスクール(放課後学級)には、名音から教員を目指す学生が来てくれています。子どもたちとかかわりながら、演奏もしてくれています。こうしたことも組織だからこそ、できることです。先生方の学校でもぜひ、出前授業、芸術鑑賞、吹奏楽の指導などで、母校の先生方や学生の方を活用されてはいかがでしょうか。

母校「名古屋音楽大学」は、今年、創立50周年を迎えました。近年、母校は随分様変わりしています。しばらく母校から遠ざかっている先生方、ぜひ一度訪ねてみてください。その機会は、夏の『めいおんの会』です。



## 退職を迎えて

前名古屋・荒子小 佐藤 初恵 (50年卒)

小さい頃からの夢だった音楽の先生。幼稚園の頃からピアノに触れ、高校では合唱部で活動し、合唱のすばらしさ、みなで合わせる楽しさを学びました。合唱部の顧問の先生の進めもあり、音大に入学し、音楽についていろいろ学び、ぜひそれを生かしていきたいと思うようになりました。「子どもたちに音楽の楽しさを伝えるには、先生自身が楽しいと感じることが大事なんだよ。そして、さらに音楽の美しさ・すばらしさを味わい、生活の中にある多様な音楽に関心をもつことができるように、子どもと音楽とのふれあいを大切にしたい授業づくりに取り組む姿勢を忘れないこと」と、先輩から言われた言葉。この言葉から、音楽の先生という道でずっと続けていきたいと思いました。

日々の授業の中で特に重点をおいていたのは、一時間の授業の中でより多くの子に声をかけ、子どもたちの実態を把握し、一人一人の「よさ」を見いだすように心がけてきたことでした。そして、学習の流れを『音楽に会う→表現を工夫する→表現のよさを見つける』として進めてきました。歌唱活動では、斉唱から合唱へと音の重なりを感じ取りながら、曲想に合った無理のない発声で歌うことができるようになってきました。さらに、友達と声を合わせる楽しさや一体感を味わうことができ、リコーダーのアンサンブルの学習では、発表の場を設けたことが功を奏し、表現を工夫したところやそのよさを認め合い、一層意欲的に取り組むことができるようになりました。子どもたちが意欲的に活動している姿を見るとうれしく思います。

小学校の音楽専科として40年。山あり谷ありと苦労することもいろいろありましたが、一日一日が充実していました。たくさんの人との出会いがあり、支えられて今日までできました。感謝の気持ちでいっぱいです。人と人とのつながり、出会いを大切にしていきたいと思っています。

## 教師になって

### 大学を卒業して4年目、今になって感じること

三重・(亀山)中部中 井田麻由美 (H24卒、33期生)

この4月から亀山市立中部中学校で音楽の教諭として、正規採用となりました。これまでの3年間は様々な学校で常勤講師をさせていただきました。

1年目は、元気が良すぎる中学校での経験。毎日生徒を追いかけて校舎中を走り回ったり、授業は悪戦苦闘して、日々学年の先生に相談にのっていただいたり……。おかげで、しっかりとした授業のベースづくりができました。2年目は、小学校で様々な教科の専科をした経験。中学校に入学する前の子どもたちがどんなことを学び、どんな思いで中学校に来るのかを身近で感じる事ができました。3年目の中学校では、私自身全く経験のない不安要因でもあった吹奏楽部を、副顧問として携わせていただき、吹奏楽の基礎を一から学びました。そして、4年目の今年。現在、音楽の授業を17クラスと吹奏楽部を主顧問として持っています。1学期は学校に慣れるのが大変で、毎日バタバタではありましたが、生徒たちの元気に「負けるまい！」と自分を強くもち、生徒とのコミュニケーションを大切にしながら、がんばっています。

まだまだ未熟な私ではありますが、振り返れば、様々な学校での出会いは、今の自分にとって欠かせないものだったと感じています。今後も新しく様々な実践を重ね、生かしながら、生徒とともに私自身も成長していきます。

## 会員の異動

7月7日現在、(SH卒年) 名古屋市立は市名略 愛知県は市町村名 他は都道府県名を記す。

### 【教諭(本務)】

<退職> 佐藤初恵(50)荒子小、大鹿路子(50)城西小 ~お世話になり、ありがとうございました~

<転任> 小林敦子(55)中根小→桶狭間小、伊藤比佐乃(58)神沢中→富士中

川合恒之(58)守山西中(教頭)→扇台中(校長)、守永洋子(58)長良中→豊国中

塚崎崇史(60)若葉中→守山西中、安藤みさ(62)助光中→長良中、中村由美子(16)名塚中→宮中

笠羽真澄(18)玉川小→滝川小、石村佳愛(22)高杉中(特支)→御幸山中(特支)

<新任> 井田麻由美(24)三重・(亀山)中部中、佐久間梨絵(27)三重・東員第一中

### 【講師】

谷口紀美江(56)神沢中(特支)→南養護、田嶋淳子(59)野並小→太子小、近藤浩美(59)御剣小→八事小

木下まゆみ(63)米野小→鳴海東部小、相坂晴美(17)宝南小→栄小、小野優夏(17)山根小→堀田小、川西智

子(21)呼続小→上野小、三浦あゆみ(22)黄金中→南陽中、滝智子(25)扇台中→高針台中 野田菜摘(25)三

重・津田学園小→港北中、多田直幸(20)刈谷・雁が音中→豊川・西部中、戸田高嶺(22)春日井・鷹来中→春

日井・柏原中、稲垣由希(23)安城・桜井中→安城・安城特別支援、丸山加那子(25)東郷・音貝小→長久手・市

が洞小、竹内りな(26)岡崎・福岡中→豊橋・高師台中、西根千裕(26)三重・鳥羽東中→三重・答志中、長岡中

<新規> 平野留巳(27)愛西・佐織特別支援、曾我菜々子(27)春日井・篠木小、久保田優美(27)長野・新野小

## 平成27年度 総会・研修会・懇親会

【日時】 8月23日(日) 10:00~12:30(総会・研修会)、13:00~15:00(懇親会)

【会場】 名古屋音楽大学 博聞館D101教室(総会・研修会)、学園食堂(懇親会)

【講師】 名古屋音楽大学客員教授・鍵盤ハーモニカ奏者 松田 昌先生

【テーマ】 「さあ!はじめよう 鍵盤ハーモニカ」 ~おもしろさ・楽しさを子どもたちに~

### ＝編集後記＝

◆ご勇退された先生の寄稿から「授業で大切なこと」について、学ぶ点が多々あるように思います。◆教育界はこれから転換期を迎えます。「道徳」の教科化(小H30~、中H31~)、学習指導要領の改訂も近々あるとか・・・?音楽の授業時数は・・・?気になるところです。様々な変化があろうと、すべては目の前にいる子どもの実態からスタートです。◆芸術鑑賞等は、教職指導室(小泉先生)052-411-1664へ。(ゆ)

